

議会 だより



鳴門市
NARUTO CITY

目次

第1回定例会の主な審査状況	②
一般質問	③～⑧
委員会審査から	⑨
平成25年度当初予算および 平成24年度補正予算の審査	⑩～⑬
第1回定例会の提出議案と 議決結果・請願の処理	⑭
討論と記名投票	⑮
議会活動、第2回定例会日程	⑯

発行／鳴門市議会

☎772-8501

徳島県鳴門市撫養町南浜字東浜170番地

☎088-684-1234 FAX 088-684-0814

✉gikai@city.naruto.lg.jp

編集／議会広報委員会

発刊／2013年(平成25年)6月1日

<http://www.city.naruto.tokushima.jp/gikai/>

【写真】5/10 市戦没者追悼式と併せて行われた
「平和を考える市民のつどい」(文化会館)

平和を考える市民のつどい



紙面充実へ！

～ ページ増でよりわかりやすく ～

No. **83**

第1回定例会の主な審査状況

2月20日(水) 第1回定例会 開会／予算決算委員会

- ・委員会より発議2件が提案され、討論・採決の結果、いずれも可決と決しました。
- ・市長から市政についての所信が表明され、平成25年度一般会計予算案など議案44件、報告1件が提出されました。
- ・議案13件を所管の常任委員会に付託しました。
- ・平成25年度当初予算にかかる議案13件の全体説明を受けました。

2月25日(月) 一般質問

- ・4会派による代表質問を行いました。

2月26日(火) 一般質問

- ・議員5名による個人質問を行いました。

2月27日(水) 一般質問 / 予算決算委員会

- ・議員2名による個人質問を行いました。
- ・市長から平成24年度一般会計補正予算案など議案17件が提出されました。
- ・議案48件をそれぞれ所管の常任委員会に付託しました。
- ・平成24年度補正予算にかかる議案11件の全体説明を受けました。

3月4日(月)、5日(火) 予算決算委員会

- ・付託された予算案24件について各部課ごとに審査する普通質疑を行いました。

3月6日(水) 総務文教委員会

- ・付託された議案17件について審査の結果、議案17件はいずれも可決すべきと決しました。
- ・報告1件について担当課より説明を受けました。

3月7日(木) 生活福祉委員会

- ・付託された議案7件、請願2件について審査

の結果、議案7件はいずれも可決、請願2件はいずれも不採択にすべきと決しました。

3月8日(金) 産業建設委員会

- ・付託された議案13件について審査の結果、議案13件はいずれも可決すべきと決しました。
- ・報告1件について担当課より説明を受けました。

3月11日(月) 予算決算委員会第1分科会

- ・企画総務部、消防本部、教育委員会の予算案について審査を行いました。

3月12日(火) 予算決算委員会第2分科会

- ・市民環境部、健康福祉部の予算案について審査を行いました。

3月13日(水) 予算決算委員会第3分科会

- ・経済建設部、企業局の予算案について審査を行いました。

3月19日(火) 予算決算委員会

- ・各分科会から報告を受け、採決を行い、いずれも可決すべきと決しました。

3月22日(金) 第1回定例会 閉会

- ・第1回定例会に提案されたすべての議案について各常任委員長の報告を受け、採決を行った結果、議案61件についてはいずれも可決、請願2件のうち1件は採択、1件は不採択と決しました。
- ・議員より意見書1件が提案され、討論・採決の結果、可決と決しました。
- ・議員8名より決議案1件が提出され、討論・採決の結果、可決し、特別委員会を設置しました。
- ・発議1件について討論・採決を行い、可決しました。

(※議決結果については、14ページの一覧表をご覧ください。)

平塚 保一	野田 粹之	三津 良裕	上田 公司	川田 達司	山根 巖	大石美智子
・鳴門駅周辺整備について ・消費生活問題について	・高齢者福祉と雇用について	・観光行政について ・総合計画推進事業について	・環境行政について ・公共下水道事業について	・雇用創出のための企業誘致策について ・ごみ収集業務の民間委託に向けた取り組みについて	・教育行政について ・観光行政について	・農業行政について ・外国語活動について

松浦 富子 (公明党)	榎原 幸告 (新政会)	橋本 国勝 (のぞみ)	宮崎 光明 (絆)
・超高齢化社会の対策について ・通学路の安全対策について	・これからの経済政策について	・市長の政治姿勢について ・競艇事業について ・生活保護費不正受給事件について	・市長の政治姿勢について ・競艇事業について ・教育行政について

●代表質問(会派名)

一般質問の項目一覧



代表質問



会派 絆
みやざきみつあき
宮崎 光明

◆市長の政治姿勢について

問今後の鳴門病院への支援や地域医療を守るための取り組みと支援策は。

答鳴門病院は地域の基幹病院で、この度、地域医療支援病院の承認も受けただことから、市としても、従来以上に救急医療や市民の安全・安心を支える公的医療機関として連携・支援していきます。具体的に、
は固定資産税約8,000万円と市民税均等割の約6万円の課税免除を考えています。



運営基盤が県に移行された鳴門病院

◆競艇事業について

問競艇臨時従事員の離せん餞別金の訴訟と課題点について。また、施設改善についての考え方は。

答訴訟の判決は、市側の全面勝訴でしたが、判決文の中で「過去の補助金の交付等が違法とは言えない」が、疑

義が生じないよう「今後関連制度の条例化等の検討が望まれる」との付言があり、これに沿う条例を作り、離せん別金は平成24年度に退職手当として清算を行いたいと考えています。新施設については、コンパクトで「鳴門の核となり、魅力あるレースを見せる、市民に親しまれ、持続可能な運営ができる施設」を目指します。

◆教育行政について

問文部科学省の体罰にかかる実態把握調査と教育委員会の取り組みは。また、本市のいじめの現状と対策については。

答本市においても、現在、市内の小学校を通じて調査を実施し、その結果をふまえ、「体罰のない学校づくり」に取り組み指導を徹底しています。なお国の緊急調査による本市のいじめ認知件数は、小学校36件、中学校37件でしたが、教職員の的確な対応により、現在はすべて解消されています。対策としては、いじめ等の相談を受ける「うずつ子ダイヤル」の開設や、いじめの早期発見や対応に向けた研修だけでなく、鳴門教育学と連携し、児童・生徒への予防教育も実施しています。

代表質問



会派 のぞみ
はしもとくにかつ
橋本 国勝

◆市長の政治姿勢について

問平成25年度当初予算は補正予算を合わせても前年度を下回っている。これで市の経済活性化による景気の向上が図れるのか。

答当初予算案と補正予算案のうち緊急経済対策分を一体として考えると、投資的経費は前年度比10.7%増の約22億円となります。本市では、国の補正予算に連動し、緊急性の高い防災対策事業等の基盤整備事業の積極的な推進を図り、地域経済の活性化に取り組みたいと考えています。

問経済の活性化に向け、予算の計画的かつ迅速な執行にどのように取り組むのか。

答平成24年度補正予算に計上する事業においても、事業効果や経済効果が速やかに発揮できるよう、迅速な予算執行に努めたいと考えています。

◆競艇事業について

問競艇事業では平成25年度に経営改革アクションプランの最終年度となるが、累積赤字解消と現金ベースの黒字の確保が達成できるのか。

答25年度当初でも約2億円の黒字を計上しており、経営努力を続けることで累積赤字を解消できるよう取り組みたいと考えています。現金ベースでもほぼ目標額となり、新施設建設の基本的な原資も確保できる見込みです。



外向発売所 エディウィン鳴門

◆生活保護費不正受給事件について

問生活保護費不正受給事件への対応について。

答今回、家賃や敷金等の虚偽の申請により不正受給が行われたことから、今後は見積書や入居契約書、領収書等の確認により厳正を期すとともに、ケースワーカーや近隣の生活保護実施機関が相互の情報交換を密にし、多面的にチェックしていきます。生活保護事務については、法令を遵守し適正に実施しています。

代表質問



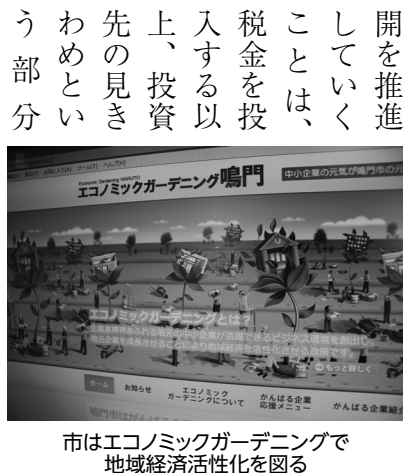
会派新政会
くはら ゆきつぐ
原 幸告

◆これからの経済政策について

問 優秀なアイデアや技術を持っている方を広く募集して、画期的で事業として成り立つと考えられるものに対して、起業や市場開拓のために市が直接投資してはどうか。市は一時的には株主になるが、事業の経営には一切関与せず事業が軌道にのれば会社に株を売却し、回収した資金をまた別のアイデアに投資をするといった起業支援を行ってはどうか。

答 アイデアを持ち起業しようとする方にとって最も大きな壁である資金面での支援策の検討は、大きな課題と考えており、行政による直接投資といった手法についても、新産業や雇用の創出、ひいては地域経済の活性化における新たな考え方の1つだと思っております。

しかしながら、自治体がベンチャーキャピタルのような事業展



市はエコミックガーデニングで地域経済活性化を図る

開を推進していくことは、税金を投入する以上、投資先の見えわめという部分で、相当なリスクを負うことが想定されるため、研究を要する課題であると考えています。現在、エコノミックガーデニングを推進していく中で、新たな起業支援策も含めた経営基盤強化や経営拡大支援策について検討を進めています。これまでの枠にとらわれず、柔軟に取り組んでいきたいと考えています。

【用語解説】ベンチャーキャピタル

未上場の新興企業(ベンチャー企業)に出資して株式を取得し、将来的にその企業が株式を公開(上場)した際に株式を売却し、大きな値上がり益の獲得を目指す投資会社や投資ファンドのこと。一般的には、企業への出資と同時に経営コンサルティングを行い、その企業価値の向上を図る。

代表質問



会派公明党
まつら とみこ
松浦 富子

◆超高齢化社会の対策について

問 高齢者雇用安定法の改正を受けて、本市の高齢者の雇用および生産拠点の拡大を図るための経済対策はどのようなものがあるか。

答 ライフスタイルにあわせた生きがいの充実と福祉の増進に向けて、臨時的・短期的な就業機会を提供するシルバー人材センターへの支援を行い、高齢者に対する就労支援策を実施しています。また、高齢者雇用に関して事業者への啓発を行うとともに、ハローワーク鳴門との連携による情報提供を行っていききたいと考えています。

◆通学路の安全対策について

問 国が実施した、小学校および公立特別支援小学校の通学路における緊急合同点検について、本市の実施状況は。

答 危険箇所報告のあった小学校は撫養、林崎、桑島、第一、里浦、鳴門東、鳴門西、瀬戸、大津西、堀江北、堀江南、板東の12校であり、黒崎、明神、北灘西、北灘東の4校は、すでに危険箇所への対応が行われており、危険箇所の報告はありませんでした。

問 本市の通学路安全対策として、子どもたちの命を守る交通安全の確保に向けて国が支援する防災・安全交付金を受け取るための図表の公表・申請の予定は。

答 緊急合同点検による危険箇所のうち、今後改善策が実施されるのは20カ所、そのうちの9カ所は市が実施しますが、小規模な維持補修的なものであり、防災・安全交付金の対象とならないため利用していませんが、整備を行う際には、国や県の制度を注視しながら、その制度を活用したいと考えています。



子どもたちを守るため通学路の整備が進められている

個人質問



おおいし みちこ
大石 美智子

◆農業行政について

問安全・安心で、消費者が求める味や健康志向に応える付加価値のある農産物の創出・推進、および6次産業化や農商工連携に向けての行政の役割や補助を明確に出すなどの推進について。また、商社等を活用し高価格での販売が期待できる海外への販路拡大の推進についての考えは。

答すでに市内3農協等が中心となり新たな有望品種の栽培試験に着手しており、今後も農産物の付加価値の創出を進めます。

また現在、内閣府に申請中の「鳴門うずしお果実酒・リキュール特区」の普及など、規制緩和により本市の農業ビジネスへの新規参入の機会が拡大し、新たな付加価値の創出や6次産業化、農商工の連携促進、商社等の活用機会の可能性が高まるものと確信しています。本市では、生産者、農協、事業

者などと連携し、あらゆる可能性を検討しながら強い決意で取り組んでいきます。

◆外国語活動について

問平成29年度までに英検3級合格程度の生徒が6割以上という目標達成までの指導やサポートは。また、中学生による島田英語村イングリッシュキャンプを50人限定でなく全生徒が体験できるようにしては。

答英検3級受検に向けたサポートとしては、教員の指導力向上、授業改善のための研修やリスニング・スピーキング力向上に向けた外国語指導助手の効果的活用



イングリッシュキャンプ2012の授業風景

に積極的に取り組みます。また島田英語村イングリッシュキャンプでは、英語を使ったゲームや英会話レッスンなどの取り組みを計画しており、今後はできるだけ多くの生徒が参加できるように、実施時期や方法などを検討します。

個人質問



いわたね
山根 巖

◆教育行政について

問これからの子どもたちにとって英語教育は大変重要な課題であり、小さい頃から英語に親しむことのできる教育環境を整えるという観点から、ALT(外国語指導助手)を増員すべきと思うが。

答現代社会においては、グローバル化が進み国際共通語としての英語力が一層強く求められるようになりまし

こうした中、子どもたちがALTと交流することは、外国の文化や生きた英語に直接触れることができ、その体験が子どもたちの視野を広げ、コミュニケーションや英語学習への積極性を育むことにつながる



ALTと楽しく生きた英語を学ぶ

ると考えています。今後は、幼稚園から小・中学校への発達段階に応じた国際理解教育や外国語教育の一層の充実に向け、ALTの増員も含め積極的な活用方法を検討していきます。

◆観光行政について

問今後、観光客を増やすには、鳴門ブランドに向けた取り組みや体験型観光、教育旅行(修学旅行)の積極的な誘致が必要だと思いが。

答そこにしかない本物を実際に見て体験する体験型観光は、魅力的な観光資源となり、産業の活性化につながるかと考えています。また教育旅行の誘致は、団体での誘客が図れることやリーダーとなることが期待されるなど多くのメリットがあります。

しかし、現在の体験メニューは少人数が対象のものが多く、団体の受け入れが可能な施設はごく一部であるため、今後はこうした受け入れ環境の整備を進める中で、受け入れ業者や観光協会など関係機関と連携して観光振興を図っていきます。

個人質問



かわ たつじ
川田 達司

◆ごみ収集業務の民間委託に
向けた取り組みについて

問 厳しい財政状況の中、事務事業の簡素化を進める上で、ごみ収集業務および鳴門市火葬場の民間委託や指定管理者制度の導入を含めた今後の事業運営について。

答 平成22年度に策定したスーパード改革プランにもとづき事業全般の効率化に取り組んでいます。ごみ収集業務は民間委託した方が経費が少なくことや現業職員の不補充が続いていることから、将来的には直営の限界が予測され、民間委託は避けられないと考えられています。火葬



市民生活に欠かせないごみ収集業務

場の管理運営体制のあり方も含め、全体コストの削減や移行導入時期などについて、市民サービスが維持・向上できるように慎重に検討したいと考えています。

◆雇用創出のための
企業誘致策について

問 平成25年度事業の中で、雇用創出を促進させる施策と新たな企業誘致事業にどのように取り組むのか。

答 新年度事業として、とくしま産業振興機構との連携により、頑張る地場企業への支援や果実酒りキユール特区計画を生かした農業分野における6次産業化からの雇用創出に取り組んでいきます。

企業誘致策については、行政が民間の遊休地を把握し立地希望企業とのマッチングを行う手法の検討や、都市計画、新規に立地できる業種や立地エリアが制限されるといった課題の研究とあわせ、土地利用規制面における面積要件や開発許可要件の緩和を目的とする地区計画制度の活用などにより、企業誘致の促進を図りたいと考えています。

個人質問



うえ こうじ
上田 公司

◆環境行政について

問 焼却施設の維持管理に関しては、前回の質問以降、改善に向けた取り組み姿勢がみられるが、今後さらなる誠意ある対応を心がけることを求めるが。

答 焼却施設の維持管理については、法令により定められている技術上の基準に沿って行うよう努めてきていますが、過去には燃焼室中の燃焼ガスの温度が摂氏800度を連続して下回ったことや、施設の稼働状況について市民の方々に十分な情報を提供できていなかったこともありました。その点については反省しているところであり、現在では適切な維持管理に取り組むとともに施設の稼働状況に関する情報をできる限り正確に市民の方々に伝えるよう努めており、今後も誠意ある対応を心がけていきたいと考えています。

問 購入後10年たった現在においてもほとんど利用できない状態であるクリーンセンター周辺用地を、当時24億円もかけて一括購入する必要性があったのか。

答 周辺の環境保全や緩衝帯の確保などを含めて、購入当時は施設建設に必要とされたものであったため一括購入を行いました。



鳴門市クリーンセンター

◆公共下水道事業について

問 公共下水道事業に関しては事業全体の根本的な見直しの必要性を求めるが、まずはより実現可能な下水道普及対策助成制度を国に頼らず市単独で実施すべきではないのか。

答 下水道普及対策助成金に関しては今後も継続して国庫補助対象として実施できるものと考えていますが、本市としては、今後の国庫補助制度の動向に関わらず、継続して実施していきたいと考えています。

個人質問



みづはし ひろし
三津 良裕

◆観光行政について

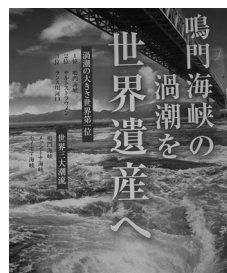
問 魅力ある都市環境とは、市民が住むことに誇りを持ち、幸せを感じる美しい町のことである。鳴門を訪れたい、鳴門で住みたい、働きたい人が増えれば、交流・定住人口も増え鳴門市を活性化することが観光行政で、すなわち魅力的なまちづくりである。本市も観光都市として、生きる知恵や楽しさを得る観光を求める人々を引き付ける都市環境の魅力をもっと高めるために、スポーツ大会、研修会、研究大会などの中・四国大会、全国大会を積極的に誘致し、人や情報、経済の交流を中心とした観光都市鳴門としたいと考えるが、明石海峡大橋が開通して15年経った今、経済的な効果、観光振興施策をどう考えているか。

答 観光振興を図ることは、農漁業の振興をはじめ、大きな経済効果を生み、地域経済の活性化につながるかと考えており、今後も市うず

しお観光協会との連携を強化し、民間企業、市民と行政が一体となって取り組む考えです。

◆世界遺産化ツアー事業とは。

答 四国八十八箇所霊場と鳴門海峡をめぐるツアー開発の事業者に助



成を行い、世界遺産化への機運の醸成を図りたいと考えています。

◆総合計画推進事業について

問 これまで、市外や県外に転出または転入した方々に鳴門の魅力について意見を聞くことでの鳴門のまちづくり推進を提言してきたが、この度の「なるとワールドカフェ」開催事業とは。

答 まちづくりでは市の将来を担う若者世代の人づくりが特に重要で、施策の推進にあたり各組織の高齢化や後継者不足も大きな課題であるため、働く世代、特に20・30代の若い世代や女性の方に市の課題などの意見交換の場を提供し、鳴門のまちづくりにおいて活躍していただきたいと考えています。

個人質問



のだ きよゆき
野田 粹之

◆高齢者福祉と雇用について

問 市民、特に高齢者で、買い物や交通面での難民や弱者となる方が日常生活において不自由されていることと、時間があり社会貢献や雇用の場を求めている方を、うまくコラボレーションすることを提案したいが、市長の考えは。

答 今回の定例会では、高齢者に対する雇用に関するものが非常に多かったと思っており、やはり2025年問題もあり、今からその対策を始めなければならぬことを十分認識させていただきました。



現在、子育て応援団として市内広域で行っているファミリーサポートセンターでは、支援を依頼する会員、提供できる会員として登録し、1〜2時間単位程度で有償ボランティアのような相互援助活動をしていただくものであり、報酬はわずかもかもしれませんが、お互いにマッチングした取り組みをしていただき、その組み合わせをアドバイザーさんが考えていただければ、シルバー人材センターにはない、日常生活における軽度な支援について整備を進められるのではないかと考えました。今後はそうしたことをふまえ、検討させていただこうと思っております。



鳴門ファミリー・サポート・センター

個人質問


 ひらおか やすじ
 平塚 保二

◆鳴門駅周辺整備について

問これから観光シーズンを迎え、特にJR利用客がまず鳴門駅に着いてどう思われるのか、例えば案内所はどこにあるのかなど、本市を訪れる観光客の目線で見てどう考えているか。

答以前は駅前に市が観光案内所を設置していましたが、現在は特に利用者が多い市観光情報センターで観光案内を行っており、JRで訪れた方



JR鳴門駅前

にはご不便をおかけしています。

そこで市では、駅前の活性化と観光客の利便性を図るため、なると観光ボランティアガイドの案内により、JR鳴門駅を起点として観光地をめぐるコースを設定したり、徳島ヴォルティスホームゲームの会場までの道をヴォルティスロードと名付け、プリントシールを提示してご案内したりしています。

◆消費生活問題について

問押し買いの手法を新聞でもわかりやすく解説していたが、時代の流れとともに、新しい詐欺的商法が出現している。押し買いはこれまで特定商取引法での規制対象外だったが、消費者庁は昨年8月に法制化し取り締まることに踏み切った。鳴門市は京阪神に近く、新手法の詐欺が一番早く上陸する傾向もあるが、具体的な対応策は考えているか。

答今年1月には「笑って撃退！悪徳商法」と題した落語による講演会を開き、押し買いの手法と対処方法をわかりやすくお話いただき、市民の皆様にご注意を呼びかけたことをはじめ、広報や出前講座などの啓発を通じ被害の未然防止に努めています。

定例会で可決された意見書は、各関係機関へ送付しました。



無年金・低年金者への基礎年金国庫負担分3.3万円を支給する緊急措置を求める意見書

わが国の年金制度は、①受給資格期間が異常に長いこと、②最低保障部分がないことから、多くの無年金・低年金者を生み出し続けています。現在、基礎年金は、半額が国庫負担分とされています。基礎年金を満額6.6万円受給する人は、保険料分が3.3万円、国庫負担分が3.3万円です。4万円受給の人は、保険料分が2万円、国庫負担分が2万円です。無年金の人は国庫負担分を受けられません。

年金者組合は、「税金はすべての人が払ってきたのですから、65歳以上のすべての人に、国庫負担で3.3万円支給すべき」と主張しています。3.3万円の要求は、現行年金制度の中での、当面の最低保障の要求です。そのことが、無年金・低年金者の問題を解決するために大きく役立つことは明らかです。

昨年6月から年金が0.3%引き下げられました。この10年間、たびたびの引き下げはあっても、年金を引き上げられたことがありません。この間、年金課税は強められ、医療・介護保険料は上がり続けています。一人暮らしの高齢者の生活は特に深刻です。

「最低保障年金制度」が実現し、適用されるまでの緊急措置がどうしても必要です。

記

1. 無年金・低年金者への基礎年金国庫負担分3.3万円を支給する緊急措置を求めます。
以上のとおり、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成25年3月22日

鳴門市議会



委員会審査から

総務文教委員会

- 議案第22号 鳴門市地域バス運行条例の一部改正について
〔説明〕平成24年度末での市営バスの廃止に伴い、地域バスで使用できた市営バスの回数券が使えなくなる代わりに協定路線を運行する民間事業者(徳島バス)の回数券が使用できるよう条例の改正を行うもの。
- 議案第44号 工事請負契約の締結について(鳴門市撫養小学校校舎耐震改修工事のうち建築工事)
(質疑)市民から耐震化の耐久性が10年程度しかないという指摘があるが。
→ 安全確保のため学校再編より耐震化を急いで欲しいとの要望が多く、耐震化を優先した。
(質疑)校舎内に設置される予定の児童クラブの位置はどこになるのか。
→ 現在のランチルーム、プレイルームの利用を考えている。
- 議案第58号 工事請負契約の締結についての議決内容の一部変更について(鳴門市鳴門中学校屋内運動場改築工事のうち建築工事)
〔説明〕想定以上の地下水の流入のため基礎工事ができず、地下水の流入を防ぐ矢板と濁水を処理する設備の設置費用として2,500万円を増額するもの。
(質疑)工期についてはどうなるのか。
→ 平成25年10月中旬を目途に工事を完了させる予定。

生活福祉委員会

- 議案第31号 鳴門市高齢者等無料バス優待券の交付等に関する条例の一部改正について
〔説明〕4月1日から徳島バスが運行する市内路線全ての区間で無料優待券が利用できるよう(70歳以上の方)適用区間を拡大するもの。
(要望)対象路線の拡大で利用者の増加が見込まれる。利用者に対する周知を十分してもらいたい。
- 請願第29号 公費負担にもとづく最低保障年金制度の創設を求める意見書採択についての請願書
(意見)本年8月予定の社会保障の改革案を検討している国民会議の動向を注視しながら審査するべき。
(意見)昨年第4回定例会からの継続審査のため結論を出すべき。
- 請願第30号 無年金・低年金者への基礎年金国庫負担分3.3万円の緊急支給する措置を求める意見書採択についての請願書
(意見)3.3万円の年金を支給することにより、生活保護制度の利用者が減少するなどの財政効果は見えにくく、現行の生活保護制度を利用するべき。
(意見)年金は高齢者を支える大切な制度で、国は制度をしっかりと確立させるべき。

産業建設委員会

- 議案第37号 鳴門市下水道条例の一部改正について
〔説明〕地域主権一括法による下水道法の改正に伴い、下水道の構造について条例で技術上の基準を定めることとなり、検討の結果、国の基準と同様とすることが合理的と判断した。
(質疑)現在の下水道工事について地震対策はしているのか。
→ 耐震設計どおり施工できている。
- 議案第56号 鳴門市モーターボート競走事業に従事する臨時従事員の給与の種類及び基準に関する条例の制定について
〔説明〕競艇臨時従事員の離職せん別金補助金の支出に関する住民訴訟では補助金の交付については違法とは言えないとし市側勝訴という結果になったが、給与法定主義の見地から、適法性の疑義を避けるためにも関連制度の条例化が望まれるとの付言があったことから、新規条例を制定する。
- 議案第57号 鳴門市モーターボート競走事業に従事する臨時従事員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について
〔説明〕将来の経費負担を軽減するため退職手当を清算し廃止することについて組合と労働協約を締結したため、条例の退職金にかかる部分を削除する。
(質疑)組合との交渉過程はどうだったのか。
→ 組合とはこれまでの6回の交渉を重ね、現段階では、廃止することについて合意している状況だ。
(要望)今後、新たなスタートをきるためにも万全の体制としてほしい。



～市の予算の使いみちについて話し合いました～

8日間にわたり、予算決算委員会および各分科会を開催し、平成25年度当初予算・平成24年度補正予算に関する24議案について審査しました。

委員会での審査の中で出た意見・要望や、それに対する答え、説明を抜粋しました。
(★：意見・要望 / ●：答え、説明)

— 子ども・子育て —

★公立保育所の整備も私立保育所と同様に支援し、できるだけ早く建物の耐震化を進めてほしい。

★子どものまちフェスティバルを実施した後は、その効果を検証し、限られた予算で子どものためのまちづくりに積極的に取り組めば、保護者が集まる機会も増えるのではないかな。



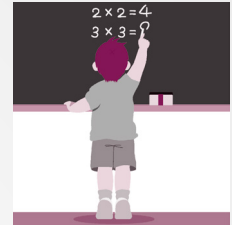
★ファミリーサポートセンター事業でのトラブル発生時のフォロー体制について、利用者の仲介役に徹する現在の体制では何か起こった際、責任の所在等が問題となる危険性があることを利用者に十分周知するようにしてほしい。

また、利用者間の安易なやりとりによる事故の発生を防ぎ、サポートする側の気持ちを十分生かすためにも、万一のことを想定した対策を早急に考え、体制整備に努めてほしい。

★市児童福祉審議会では、現場の声を反映できるように保護者だけでなく教育関係者等の子育てに直接関わる方々が委員になり、それぞれの立場で審議すべき。

★耐震化工事のため小学校の体育館が使えない間のスポーツ少年団等の活動を心配し、各中学校や鳴門教育大学などの施設を使えるよう配慮を求める保護者の声もあることから、学校とよく相談し対応してほしい。

●休校・廃校となった小学校の施設使用料について、休校中の島田小と、跡地の利活用を現在協議中の川崎幼・小は現在、教育施設との位置づけにあり、使用料等は発生しないが適切な使い方をしていただく方針。



●スクールバスの運行形態は、予備車両も含めて3台体制を考えている。

★森崎貝塚は現在、児童生徒の校外学習の教材として適切な状態でないことから、貴重な文化財保存、また子どもたちのため、県の補助金を有意義に活用し、より教育環境の整備に努めてほしい。

★市のスポーツ施設の運営業務は委託しているが、今日の時勢も鑑み、社会人に施設使用料の負担を求めることも検討してほしい。

●日本スポーツ振興センターでの事故は1年に数件は発生しているが、重大事例はない。

●シーカヤックは自然を身近に感じ鳴門らしさを体験できるスポーツであり、ウチノ海総合公園の魅力向上と市内外からの利用促進を図るため、シーカヤック離発着桟橋を公園の附属施設として設置する。

●市立工業高校の海鳴寮に関する費用について、統合後すぐ寮を閉鎖すれば現在の入寮者が困るという保護者会等からの声があり、現在入寮中の子どもが卒業する25年度末までは浄化槽等の維持管理関係費用のみ計上する。



— 教育・文化・スポーツ —

●学校の備品費の振り分け方は、学校割、学級割、人数割を積み上げているほか、学級数や人数の急な変更に対応できるよう調整している。

●小学校体育館の耐震化工事について、補正予算に計上されている4校(桑島、鳴門西、明神、板東)、当初予算に計上されている5校(黒崎、北灘東・西、堀江北・南)のいずれも平成26年度末に完成予定。



★万一のとき実際に自分が緊急通報システムを利用する状況を実感できるよう、より積極的に啓発活動をしてほしい。

★市内5カ所の地域包括支援センターを市が基幹型センターとして管理し、高齢者の不安や財政の圧迫要因の低減に努めるとともに、先進地の取り組みに倣う中で見えてきた課題や対策を市民に分かりやすく公表すべき。

★市民へのしわ寄せを最小限にするため、市単独では難しい事業は国・県等に積極的に要望し、一体となって取り組んでほしい。

★居宅サービスの利用が増加し施設サービスの利用が減少しているのは、現在の市行政と地域包括支援センターが本来の役割を果たせていないためであり、事業の縮小ではなく経費削減に努め、予算を有効活用してほしい。



●本市の成年後見制度についての相談は、平成23年度は31件、平成24年度は12月末時点で約20件。

★成年後見制度を利用したくてもなかなかできない方への対応をしっかりとってほしい。

●平成24年末時点での、仕事が無い場合生活保護扶助費を受ける場合が含まれる「その他世帯」は、平成20年の約5倍。

●生活保護費受給者に対する仕事の斡旋について、ハローワークとの連携による週2回の就労相談に加え、今年度は相談員を1名増やし、訪問相談を実施する。

●生活保護費を支給する際のチェック体制として、転居時には敷金、家賃等以外にも転居に伴う輸送費も一時扶助として支給できるが公費負担もあるため、転居の妥当性はケースワーカーが確認する。

— 防災・災害 —

●今年度は、国等の今後の津波被害想定見直しや新たな課題を反映させたハザードマップや津波避難困難地域を示すマップを作成。その他の災害対応のものは、後年見直していく。

●市営住宅で耐震診断を行うのは、矢倉団地(B・E・F・L棟)と桑島第2団地(B棟)。

矢倉団地(C・D棟)は、平成24年度診断では問題がなく耐震化工事は不要だが、昭和56年以前に建築された市営住宅は、現時点では移転する予定。

★市営住宅は老朽化しているため、計画に基づき予定を進めてほしい。

★耐震性に問題がなければ、矢倉団地を津波避難ビルに指定してはどうか。

★本市は橋が多く、災害時に寸断されれば大きな影響が予測されるため、全体的な見直しを早急に進めてほしい。

●東日本大震災のとき津波で全戸籍が滅失した自治体があったことから、大規模・広域災害による正本副本の同時滅失を防ぐため、国の戸籍複本データ管理システムと市のシステムを結ぶためのソフト改修を行う。



— 消防 —

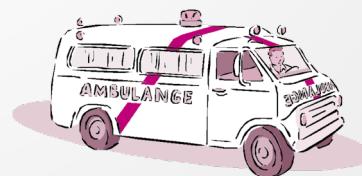
●市内に46ある消防分団詰所のうち、新耐震基準以前に立てられたのは31分団で耐震診断は未実施。市有施設耐震化推進計画に基づき進めていきたい。

★分団詰所が倒壊すれば多くの消防自動車が使えなくなるが、災害時の分団の活動は大変重要であり、一刻も早く耐震診断に取りかかってほしい。

●現在、本市の救急救命士は21名だが、管理職や日勤の職員も考慮すると、実質は大麻分署では2班・各2名、本部は2班・各5名の計14名で運用。

★緊急車両が狭小な道路での走行に苦慮しているため、地域の消防分団員の協力のもと走行の可否表示を付けたりしてはどうか。

●普段から地域の狭小道路の調査や走行訓練は行っているが、分団員の意見も聞きさらに調査する。



— 税 —

●たばこ税のうち市税分の割合が増えたため今年度は増収見込みだが、他に影響要因がなく、来年度以降は横ばいで推移する見込み。

— 保険・年金 —



★国民健康保険料の納付できなくなる世帯が増えると、多くの経費が必要となり、効率的な運用ができなくなることから、一般会計への繰入れを増やして市民負担を抑えるなどの配慮をしてほしい。

★国・県に対する財政的支援の要請は繰り返さなければ効果がない。

●今年度は、国民健康保険料の納入を口座振替にした方へ金融機関の記念品贈呈や各金融機関のパンフレット配布などを行う予定。

★国民健康保険料の口座振替は市、金融機関ともにメリットがあるので、関係機関と協力して収納率向上に取り組んでほしい。

●コンビニ収納は、手数料などの問題もあり導入には至っていない。

— 環境・衛生 —

●指定ごみ袋については現在、取手付きの試作品を配布し調査中であり、その結果を踏まえて改善を検討する。

★指定ごみ袋の形状を変更して使いやすくなっても、値上げすれば不満が出ることが予想されるため、現価での改善を検討してほしい。



★ふくろうと子どもたちの森は、ゴミ焼却施設の整備のため多額の費用をかけて取得した土地の一部であり、今後の有効利用について、市民への説明責任を果たすべき。

●本市のし尿処理施設は建設後18年ほど経過するが、他市町ほど老朽化は進んでいない。

★今後は本市も、し尿処理施設の老朽化に伴い、建物改修の条件整備等が必要だが、経費的な面で比較・検討してほしい。

●PCB廃棄物について、高濃度PCBは今年度に、他の微量PCB廃棄物は本庁分も含め26年度以降に処分する方向。

— 下水道 —

★加入促進事業の実施は、その恩恵を受けない市民にも負担を強いるため、市全体の水環境改善の見直しも同時に進めてほしい。

●現在の下水道使用料で維持管理費が賄えるようになるのは、平成46年度との予測だが、使用料を引き下げればそれ以降に先送りになることや、国の補助を受けられなくなるため、現在の使用料で理解が得られるよう説明する。



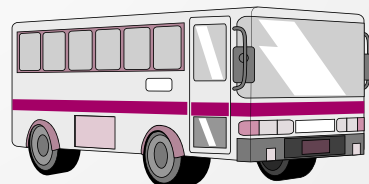
— 交通 —

★市営バス廃止後の事業運営では、公共交通と交通弱者の足という二面性を考慮し、目まぐるしく変化する時勢やニーズに対応するため、従来の路線維持中心の施策に加え、事業効果の検証や方法の見直しを行うべき。

●高齢者無料バス優待券は、不正等がないよう交付手続を行っている。利用者の利便性の観点から、基本的に全ての対象者に交付。

●事業廃止後の市営バスの用地・施設等の資産の一部は、移譲先の民間バス会社で継続し使用するが、それ以外は一般会計へ引き継ぐ。

●地域バス車両購入費の15万円で、里浦栗津・運動公園線を運航している車両のリース契約期間が満了するため、それを安価に購入して、引き続き地域バスとして使用する。



●渡船は、経年劣化により今後ランニングコストがかさむことが見込まれるが、市道として、またイベントや観光ルートとしても活用されているため、長寿命化のための点検等を行いつつ運行を続けたい。



— 観光 —

●中心市街地のにぎわい再生支援事業は、過去2年開催しているクリスマスマーケットの継続開催と、平成25年度に実施予定の市民提案事業で、シャッター街を活用した100円商店街を行う。

★観光案内標識の整備事業について、現在市内にある観光案内板は時代遅れのものや見えにくい場所にあるものが多いため、見直しを進めてほしい。

★道の駅は設置して数年経つが、



今後、鳴門の名所として訪れてもらえるようなイベントなどレベルアップのための対策を検討してほしい。



●青島市や会津若松市の物産販売や、休日に地元市民や関連企業と連携しイベントを行うなど、にぎわい創出に力を入れており、高速道路の全国共通料金制等、高速料金の見直しなども踏まえ、誘客に向けた計画を行いたい。

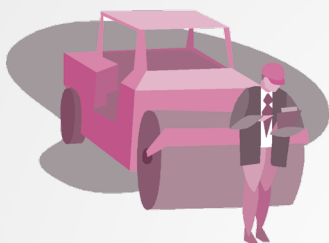
— 産業・経済 —

●本場の工事開始でエディウィン鳴門への来客増加が予測されるが、その対策はとの質疑に対し、エディウィンの今後の拡張設計・工事はボートレース振興会が実施し、負

担金はボートレース鳴門が支払うが、現在施設の拡張は協議中。

★大衆レジャーとして競艇を楽しめるように、施設改善と同時に新規顧客確保と収益向上を目指してほしい。

— まちづくり・住宅 —



★市の道路の補修等について、単年度で全ての要望に応えるのが難しいければ継続事業にするなど、できる限り

要望に応えるため計画的な予算取りをしてほしい。

●木造住宅解体撤去後の土地について、計画に基づいて継続・廃止の区分を行っており、廃止住宅は土地の有効活用のため公募による財産処分も計画している。

★土地の有効活用のため、1世帯しか居住していないような住宅は近くの市営・県営住宅への転居を交渉するなど計画的に進めてほしい。



— 市の広報 —

●議会報発行経費を増額したのは、議会だよりを今年度より4ページ増、表裏を2色刷からカラー刷にしたため。

●現在、広報なるとの配布員は75名を各地区に配置。



その他

— 選挙 —

●うずしお会館への事務局移管については、7月中旬の参議院議員選挙投票日から新事務局での業務開始を考えている。

— 職員 —

●学校の正規用務員の退職に対しては不補充とし、臨時用務員を任用した。

●市営バス事業の廃止後、正規職員は他部署へ配置転換し、それ以外の職員については3月末で雇用期間が満了する。



第1回定例会の提出議案と議決結果について

議案番号	案 件	議決結果	備考
議案第1号	平成25年度鳴門市一般会計予算		
議案第2号	平成25年度鳴門市国民健康保険事業特別会計予算		
議案第3号	平成25年度鳴門市後期高齢者医療特別会計予算		
議案第4号	平成25年度鳴門市介護保険事業特別会計予算		
議案第5号	平成25年度鳴門市公共下水道事業特別会計予算		
議案第6号	平成25年度鳴門市公設地方卸売市場事業特別会計予算		
議案第7号	平成25年度鳴門市産業団地開発事業特別会計予算		
議案第8号	平成25年度鳴門市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算		
議案第9号	平成25年度鳴門市光熱水費等支出特別会計予算		
議案第10号	平成25年度鳴門市給与費等管理特別会計予算		
議案第11号	平成25年度鳴門市公債費管理特別会計予算		
議案第12号	平成25年度鳴門市水道事業会計予算		
議案第13号	平成25年度鳴門市モーターボート競走事業会計予算		
議案第45号	平成24年度鳴門市一般会計補正予算(第5号)		
議案第46号	平成24年度鳴門市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)		
議案第47号	平成24年度鳴門市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)		
議案第48号	平成24年度鳴門市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)		
議案第49号	平成24年度鳴門市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)		
議案第50号	平成24年度鳴門市光熱水費等支出特別会計補正予算(第1号)		
議案第51号	平成24年度鳴門市給与費等管理特別会計補正予算(第1号)		
議案第52号	平成24年度鳴門市公債費管理特別会計補正予算(第1号)		
議案第53号	平成24年度鳴門市水道事業会計補正予算(第1号)		
議案第54号	平成24年度鳴門市運輸事業会計補正予算(第1号)		
議案第55号	平成24年度鳴門市モーターボート競走事業会計補正予算(第2号)		
議案第14号	鳴門市附属機関設置条例の制定について		
議案第15号	鳴門市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について		
議案第16号	鳴門市情報公開条例及び鳴門市個人情報保護条例の一部改正について		
議案第17号	財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部改正について		
議案第18号	鳴門市職員諸給与条例の一部改正について		
議案第19号	鳴門市特別職の職員の給与及び旅費の支給に関する条例の一部改正について		
議案第20号	鳴門市職員等の旅費に関する条例の一部改正について		
議案第21号	鳴門市税賦課徴収条例の一部改正について		
議案第22号	鳴門市地域バス運行条例の一部改正について		
議案第23号	鳴門市公の施設における指定管理者の指定の手続等に関する条例の制定について		
議案第24号	鳴門市新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について		
議案第25号	鳴門市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正について		
議案第44号	工事請負契約の締結について(鳴門市撫養小学校校舎耐震改修工事のうち建築工事)		
議案第58号	工事請負契約の締結についての議決内容の一部変更について(鳴門市鳴門中学校屋内運動場改築工事のうち建築工事)		
議案第59号	鳴門市特別職の職員の退職手当に関する条例の一部改正について		
議案第60号	鳴門市職員退職手当支給条例等の一部改正について		
議案第61号	鳴門市職員諸給与条例の一部改正について		

予算決算委員会にて審査
原案可決

総務文教委員会にて審査
原案可決

議案番号	案 件	議決結果	備考
議案第26号	鳴門市火葬施設条例の一部改正について		
議案第27号	廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について		
議案第28号	鳴門市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決	生活福祉委員会にて審査
議案第29号	鳴門市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について		
議案第30号	鳴門市指定地域密着型サービス事業者及び指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定に関する基準を定める条例の制定について		
議案第31号	鳴門市高齢者等無料バス優待券の交付等に関する条例の一部改正について		
議案第32号	地域社会における共生の実現に向けて新たな障害保健福祉施策を講ずるための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について		
議案第33号	鳴門市営住宅条例の一部改正について		
議案第34号	鳴門市市道の構造の技術的基準及び市道に設ける道路標識の寸法を定める条例の制定について		
議案第35号	鳴門市移動等円滑化のために必要な市道の構造に関する基準を定める条例の制定について		
議案第36号	鳴門市準用河川の河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例の制定について		
議案第37号	鳴門市下水道条例の一部改正について		
議案第38号	鳴門市都市公園条例の一部改正について	原案可決	産業建設委員会にて審査
議案第39号	鳴門市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の制定について		
議案第40号	鳴門市工場立地地域準則条例の制定について		
議案第41号	鳴門市産業振興センター条例の制定について		
議案第42号	鳴門市レストハウス条例の廃止について		
議案第43号	鳴門市水道法施行条例の制定について		
議案第56号	鳴門市モーターボート競走事業に従事する臨時従事員の給与の種類及び基準に関する条例の制定について		
議案第57号	鳴門市モーターボート競走事業に従事する臨時従事員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について		
発議第1号	鳴門市議会委員会条例の一部改正について	原案可決	
発議第2号	鳴門市議会会議規則の一部改正について		
発議第3号	鳴門市議会議員の定数を定める条例の一部改正について	否決	
意第1号	無年金・低年金者への基礎年金国庫負担分3・3万円を支給する緊急措置を求める意見書	原案可決	議案第1号に併せて審査
決議第1号	榎原幸告前監査委員の服務に関する100条調査に関する決議	原案可決	
同意第1号	副市長の選任について	同意	
同意第2号	教育委員会委員の任命について		
報告第1号	専決処分について(損害賠償の額の決定)	報告	

請願の処理

請願番号	案 件	審査結果	備考
請願第29号	公費負担にもとづく最低保障年金制度の創設を求める意見書採択についての請願書	不採択	生活福祉委員会にて審査
請願第30号	無年金・低年金者への基礎年金国庫負担分3・3万円の緊急支給する措置を求める意見書採択についての請願書	採択	

人事案件について

- [同意第1号] ひらの えつお 副市長に 平野 悦男 氏(大麻町)の選任が同意されました。
- [同意第2号] こんどう としお 教育委員会委員に 近藤 芳夫 氏(北灘町)の任命が同意されました。

お気軽に傍聴にお越しください。



第1回定例会で審査した議案のうち以下の2件は、賛成・反対討論の後、記名投票による採決を行いました。

●決議 第1号 榎原幸告前監査委員の服務に関する100条調査に関する決議

【提案理由の説明】 宮崎 光明																																																
議会選出の監査委員を務めた榎原幸告議員が、職務中に知り得た情報を住民訴訟の原告側に渡したかどうかについて、監査委員の服務に定められた原則、公正不偏や守秘義務などの観点から市議会が自主的に事実関係を調査し、市民への説明責任を果たす必要がある。(一部を抜粋)																																																
討論の概要	反対 潮崎 焜及 地方自治法に抵触した事実あるいは地方自治法に抵触したことの可能性を示す証拠もなく、決議案の提案者及び賛同者は、守秘義務違反として冤罪をつくろうとしているのではない。 正義と公平性を実現するためにした正当な行動であったにもかかわらず、このような百条調査で弾劾しようとするのは、榎原議員の名誉をおとしめさせようとする目的以外に考えられない。名誉を棄損する人権侵害であり、前近代的な裁判を思わせるものである。																																															
	賛成 討論者なし																																															
投票結果	(○：賛成 ●：反対 欠：欠席)																																															
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>議決結果</th> <th>賛成・反対</th> <th>秋岡 芳郎</th> <th>東 正昇</th> <th>上田 公司</th> <th>大石美智子</th> <th>川田 達司</th> <th>榎原 幸告</th> <th>佐藤 絹子</th> <th>潮崎 焜及</th> <th>宅川 靖次</th> <th>谷崎 徹</th> <th>野田 粹之</th> <th>橋本 国勝</th> <th>林 勝義</th> <th>坂東 成光</th> <th>平塚 保二</th> <th>藤田 茂男</th> <th>松浦 富子</th> <th>三津 良裕</th> <th>宮崎 光明</th> <th>山根 巖</th> <th>山本 秀</th> <th>横井 茂樹</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原案可決</td> <td>11:9</td> <td>●</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>※1</td> <td>○</td> <td>●</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>※2</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 榎原幸告議員は、地方自治法第117条(除斥)により、議会の同意がある場合を除き、当該議事に加わることはできません。 ※2 山本 秀議長は、地方自治法第116条(表決)第2項により、議員として議決に加わることはできません。</p>	議決結果	賛成・反対	秋岡 芳郎	東 正昇	上田 公司	大石美智子	川田 達司	榎原 幸告	佐藤 絹子	潮崎 焜及	宅川 靖次	谷崎 徹	野田 粹之	橋本 国勝	林 勝義	坂東 成光	平塚 保二	藤田 茂男	松浦 富子	三津 良裕	宮崎 光明	山根 巖	山本 秀	横井 茂樹	原案可決	11:9	●	○	○	●	●	※1	○	●	○	○	●	●	○	○	○	●	●	●	○	○	※2
議決結果	賛成・反対	秋岡 芳郎	東 正昇	上田 公司	大石美智子	川田 達司	榎原 幸告	佐藤 絹子	潮崎 焜及	宅川 靖次	谷崎 徹	野田 粹之	橋本 国勝	林 勝義	坂東 成光	平塚 保二	藤田 茂男	松浦 富子	三津 良裕	宮崎 光明	山根 巖	山本 秀	横井 茂樹																									
原案可決	11:9	●	○	○	●	●	※1	○	●	○	○	●	●	○	○	○	●	●	●	○	○	※2	○																									

●発議 第3号 鳴門市議会議員の定数を定める条例の一部改正について

【提案理由の説明】 榎原 幸告																																																
本市では少子・高齢化に伴う人口減少が顕著であり、厳しい経済状況の中で、市民にさまざまな負担を求めただけでなく、市議会の議員定数を削減し、議員自らも身を削る必要があると考えている。(一部を抜粋)																																																
討論の概要	反対 上田 公司 市民の思いや願いを市政に反映させることが議員の役割であり、人口減少や市民の声を受けてと言いながらも他市との比較もせず、4人減の理由を市民に聞くこともなく、市民負担軽減の効果も示さず、自らの存在を否定するだけの議案を3度も出すことではない。その行為自体、市民のためならず誰のためか。 求められるのは市民の負託に応えるべく議員として襟を正し、資質や倫理観の向上に邁進することである。																																															
	賛成 潮崎 焜及 鳴門市も少子・高齢化のスピードが速く人口が減少している。議員定数を減らしても、少数精鋭で市民の声を十二分に反映できる。議員報酬を削減したことは、市民の皆様から高い評価を受けた。議員定数に対する市民の意識調査も1つの方法である。私たち議員みずから身を削るという意識なくして市民に何を求めるか、もう一度私たち議員自身が示すべきである。																																															
投票結果	(○：賛成 ●：反対 欠：欠席)																																															
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>議決結果</th> <th>賛成・反対</th> <th>秋岡 芳郎</th> <th>東 正昇</th> <th>上田 公司</th> <th>大石美智子</th> <th>川田 達司</th> <th>榎原 幸告</th> <th>佐藤 絹子</th> <th>潮崎 焜及</th> <th>宅川 靖次</th> <th>谷崎 徹</th> <th>野田 粹之</th> <th>橋本 国勝</th> <th>林 勝義</th> <th>坂東 成光</th> <th>平塚 保二</th> <th>藤田 茂男</th> <th>松浦 富子</th> <th>三津 良裕</th> <th>宮崎 光明</th> <th>山根 巖</th> <th>山本 秀</th> <th>横井 茂樹</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原案を否決</td> <td>9:12</td> <td>○</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>●</td> <td>○</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>○</td> <td>●</td> <td>○</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>※1</td> <td>●</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 山本 秀議長は、地方自治法第116条(表決)第2項により、議員として議決に加わることはできません。</p>	議決結果	賛成・反対	秋岡 芳郎	東 正昇	上田 公司	大石美智子	川田 達司	榎原 幸告	佐藤 絹子	潮崎 焜及	宅川 靖次	谷崎 徹	野田 粹之	橋本 国勝	林 勝義	坂東 成光	平塚 保二	藤田 茂男	松浦 富子	三津 良裕	宮崎 光明	山根 巖	山本 秀	横井 茂樹	原案を否決	9:12	○	●	●	○	○	○	●	○	●	●	○	○	●	●	●	○	●	○	●	●	※1
議決結果	賛成・反対	秋岡 芳郎	東 正昇	上田 公司	大石美智子	川田 達司	榎原 幸告	佐藤 絹子	潮崎 焜及	宅川 靖次	谷崎 徹	野田 粹之	橋本 国勝	林 勝義	坂東 成光	平塚 保二	藤田 茂男	松浦 富子	三津 良裕	宮崎 光明	山根 巖	山本 秀	横井 茂樹																									
原案を否決	9:12	○	●	●	○	○	○	●	○	●	●	○	○	●	●	●	○	●	○	●	●	※1	●																									

ご意見BOX



鳴門市議会では、市民の皆さんが議会をより身近に感じられるような議会だよりをめざして、日々取り組んでおります。

本紙をお読みに感じられたことや疑問点などがありましたら、議会事務局までお寄せください。

* * * * *

※募集内容※ 議会だより紙面について(感想、ご要望など)
応募方法、文の様式は問いませんが、300字以内とします。
また住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。

※注意点※ ※ 住所・氏名は掲載させていただきます。
※ 投稿していただいたものは返却できません。
※ 紙面の都合で掲載できない場合がありますので、ご了承ください。

※宛先※ 鳴門市議会事務局
〒772-8501 徳島県鳴門市撫養町南浜字東浜170番地
☎ (088) 684-1234 / ☎ (088) 684-0814
✉ gikai@city.naruto.lg.jp

… 市民の皆さんのご意見をお待ちしております …



次の定例会の開催予定

平成25年第2回定例会は、6月6日から6月25日までの20日間の予定です。

6月6日(木) 第2回定例会 開会	18日(水) 休会 生活福祉委員会
予算決算委員会(専決処分)	19日(木) 休会 産業建設委員会
7日(金) 休会 一般質問通告締切	20日(金)~23日(日) 休会
8日(土)~11日(火) 休会	24日(月) 休会
12日(水) 一般質問(会派代表質問)	議会運営委員会・全員協議会
13日(木) 一般質問(個人質問)	25日(火) 第2回定例会 閉会
14日(金) 一般質問(個人質問)	
15日(土)、16日(日) 休会	
17日(月) 休会 総務文教委員会	

: インターネットで中継・録画配信
 : ケーブルテレビで中継・録画放送

定例会の様子は、パソコンまたはテレビでご覧いただけます。

①パソコンからは… <http://www.city.naruto.tokushima.jp/gikai/>

(鳴門市議会HP「議会映像配信」)

②テレビからは… ・デジタル対応テレビ → 121チャンネル

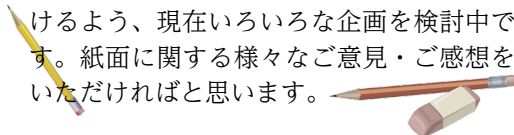
・アナログ対応テレビ → C23チャンネル

議会広報委員会

委員長：佐藤 絹子
副委員長：上田 公司
委員
秋岡 芳郎・潮崎 焜及
宅川 靖次・松浦 富子
三津 良裕・宮崎 光明

～ 編集を終えて ～

今月号より表・裏がカラー刷、4ページ増となりました。市民の皆さんが議会を少しでも近くに感じ、親しみを持っていただけるよう、現在いろいろな企画を検討中です。紙面に関する様々なご意見・ご感想をいただければと思います。



議会活動(平成25年3～5月)

3月

- 1日 議会運営委員会
- 2日 わんだーなると就航式
- 4日、5日 予算決算委員会(全体質疑)
- 6日～8日 各常任委員会
- 11日 予算決算委員会第1分科会
- 12日 予算決算委員会第2分科会
市シルバー大学校卒業式
- 13日 予算決算委員会第3分科会
- 14日 議員倫理調査特別委員会
議会運営委員会
滴翠クラブ3月例会(徳島市)
- 15日 全員協議会
議会運営委員会
- 18日 板東ゆたか保育園新園舎落成式
- 19日 市内公立幼稚園卒園式
予算決算委員会(分科会報告・採決)
- 21日 議会運営委員会
全員協議会
- 22日 第1回定例会 閉会
全員協議会
議会運営委員会
前監査委員の服務に関する調査特別委員会
- 23日 阿波えらいやっちゃツアーデーウォーク出発式
- 26日 国民文化祭実行委員会
議員倫理調査特別委員会
- 31日 市吟剣詩舞道大会

4月

- 1日 徳島県鳴門病院 設立式
- 4日 G I 大渦大賞開設 60周年記念競走式典
- 5日 徳島県市議会議長会定期総会(阿南市)
- 9日 新規就職者激励大会
黄色い帽子贈呈式(大津西小学校)
- 10日 黄色い帽子贈呈式(明神幼稚園)
議会広報委員会
- 16日 表彰審査委員会
- 21日 市身体障害者連合会総会
- 23日 前監査委員の服務に関する調査特別委員会
議員倫理調査特別委員会
- 24日 四国市議会議長会総会(香川)
柏市議会(千葉)委員会視察来庁
- 25日 議会広報委員会
- 26日 滴翠クラブ4月例会(徳島市)
- 27日 保育協議会定期総会

5月

- 1日 阿南市施行55周年記念式典
前監査委員の服務に関する調査特別委員会
議会運営委員会
- 8日 歓びの木植樹記念式典(板東小学校)
- 10日 市戦没者追悼式
市幼小中PTA連合会総会
- 11日 子どものまちづくり推進協議会総会
- 13日 市老人クラブ連合会総会
指宿市議会(鹿児島)委員会視察来庁
議会広報委員会
- 14日 境港市議会(鳥取)会派視察来庁
瀬戸内海地区議会協定連絡協議会定期総会(広島)
- 15日 鳴門市施行66周年記念表彰式
交通安全協会定期総会
- 17日 議会広報委員会
- 22日 全国市議会議長会定期総会(東京)
- 23日 防犯協会総会
大麻町商工会通常総会
- 24日 シルバー人材センター定時総会
第2回定例会の日程協議
- 27日、28日 産業建設委員会視察(滋賀・石川)
- 29日 ウチノ海総合公園シーカヤック浮き桟橋完成式
- 30日 議会運営委員会
正副委員長会
- 31日 議員倫理調査特別委員会